

事業名	乳用牛改良推進事業費		
細事業名	優良乳用供卵牛選抜事業費	財務コード	58201
担当部課室	農政 部 畜産 課 生産振興 担当 (内線)		5263

事業の概要

実施期間	始期 H5 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(直営)		
事業の目的	だれ(何)を対象に 畜産酪農技術センター長坂支所乳用牛群	その対象をどのような状態にして 供卵牛を選抜して、受精卵を供給する	結果、何に結びつけるのか 県内乳用牛の能力向上及び酪農家の収益向上
	<p>事業の経緯・目的 海外から導入した、乳量が多く、乳脂肪等の高い牛乳を生産することの出来る乳用牛を、畜産酪農技術センター長坂支所(旧酪農試験場)にて、飼育し、子孫を増すとともに、子孫の牛乳を生産する能力に関する検定を実施し、総合指数(NTP: Nippon Total Profit Index)により、優良な乳用牛を選抜している。 選抜した乳用牛は、供卵牛(受精卵を採取する牛)として利用し、採取した受精卵は県内農家に供給され、農家牛群の改良を推進し、ひいては農家の経営安定化に寄与している。</p> <p>事業の内容 主H28年度 ・高能力乳牛の娘牛を基礎とした、畜産酪農技術センター長坂支所乳用牛群の管理増殖。 ・供卵牛を選抜、確保するための検定、調査の実施。 ・データ整理、情報提供</p>		
根拠法令等	酪農及び肉用牛生産の振興の近代化を図るための基本方針、家畜改良目標、山梨県受精卵移植推進協議会設置要綱		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	27年度	28年度		29年度	30年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値	
活動指標 優良乳用供卵牛由来受精卵販売個数	38個	40個	33個	40個	40個	活動指標 目標設定の考え方 農家需要に基づき設定 データの出典等 受精卵売却実績
	活動指標達成率(実績値/目標値)		82.5 %			
成果指標 経産牛1頭あたり乳量	8,773kg	8,855kg	8,975kg	9,105kg	9,105kg	成果指標 目標設定の考え方 過去3年間の実績値に5%加えた設定 データの出典等 生産額実績、畜産統計
	成果指標達成率(実績値/目標値)		101.4 %			
決算額又は予算額 (千円) うち一財額	17,272 0		17,051 0	18,410 0	18,410 0	成果指標によらない成果
所要時間(直接分)	3,289 時間		3,282 時間	3,282 時間	3,282 時間	
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間	
所要時間計	3,289 時間		3,282 時間	3,282 時間	3,282 時間	
人件費コスト 単位:千円 (@2,145円×所要時間)	6,723		6,708	6,708	6,708	

これまでの事業の見直し・改善状況

平成26年度内部評価:見直し無し。

活動量と成果の判断(平成28年度の業績評価)

(1)事業は予定された活動量を上げているか(「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定		活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること
H28年度活動指標の達成率	活動量に係る一次評価	
b	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上) b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満) c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2)事業は意図した成果を上げているか(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定		成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること
H28年度成果指標の達成率	成果に係る一次評価	畜産酪農技術センター長坂支所において、優良な供卵牛を選抜し、採卵・販売することで、酪農家の牛群を改良し、H28年度の経産牛1頭あたりの乳量は目標を達成している。達成率は101.4%であることから、意図した成果をほぼ上げている。
b	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上) b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満) c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満) d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
無	酪農経営の安定化を図るためには、乳用牛の能力向上により、優良な能力を持った乳牛を管理することが重要である。牛は1年1産であり、成長して乳生産を開始するまで2年以上かかるため、遺伝的に能力を向上させるには、多大なる時間を要する。 このため、畜産酪農技術センター長坂支所において、乳用牛群を管理増殖し、能力検定を実施することで、優良な能力を持った牛を選抜し、受精卵移植の技術を用いて広く県内に供給することは、県内乳用牛の能力向上及び酪農家の収益向上に寄与しているため、今後も継続的に取り組んで行く必要がある。	

・「以外の判断項目」の欄
a: 目的の達成 b: 新たな課題への対応 c: 対象の変化 d: ニーズの変化 e: 法律・制度の改正 f: 民間等実施 g: 市町村等へ移管 h: 外部委託
i: 経費節減 j: 類似事業と統合・連携 k: 所要時間の縮減 l: プロセスの改善 m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止(施設については「譲渡」)」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること

自主点検シート(事業の内容及び所要時間)に関する附属資料

様式2

所属名: 畜産課

細事業名: 優良乳用供卵牛選抜事業

調書番号: 95

事業の内容を細分化した業務名	具体的な業務プロセス(手順)	業務の時期(フロー)	H28 所要 時間 (h)	H29 所要 時間 (h)A	H30 所要 時間 (h)B	縮減等 B - A	具体的な業務の 見直しの内容	見直しに至った理由等 (又は見直しなしの理由等)
1 乳用牛群の管理増殖	搾乳作業	毎日	1,791	1,791	1,791	0		業務に必要なプロセスであり、最短の所要時間で処理しているため。
	牛体管理作業	毎日	746	746	746	0		業務に必要なプロセスであり、最短の所要時間で処理しているため。
	繁殖管理作業	毎日	187	187	187	0		業務に必要なプロセスであり、最短の所要時間で処理しているため。
	飼料調整作業	毎日	187	187	187	0		業務に必要なプロセスであり、最短の所要時間で処理しているため。
	哺育作業	毎日	306	306	306	0		業務に必要なプロセスであり、最短の所要時間で処理しているため。
(小計)			3,217	3,217	3,217	0		
2 能力検定	牛群検定	月1回	25	25	25	0		業務に必要なプロセスであり、最短の所要時間で処理しているため。
	搾乳性調査	年1回	10	10	10	0		業務に必要なプロセスであり、最短の所要時間で処理しているため。
	体尺測定	年1回	10	10	10	0		業務に必要なプロセスであり、最短の所要時間で処理しているため。
	体型審査	年2回	8	8	8	0		業務に必要なプロセスであり、最短の所要時間で処理しているため。
	データ整理・情報提供	年4回	12	12	12	0		業務に必要なプロセスであり、最短の所要時間で処理しているため。
(小計)			65	65	65	0		
3						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
(小計)			0	0	0	0		
所要時間 (計)			3,282	3,282	3,282	0		

(留意事項)

- 1 事業を細分化した業務名は、事務事業を構成する業務ごとに細分化し、その業務名を記載すること。
- 2 具体的な業務プロセス(手順)は、できる限り多くのプロセスを記載すること。
- 3 業務の時期は、業務のフローがわかるように具体的な業務プロセスごとに記載すること。(毎月、四半期ごとの業務等は、その1サイクルの期間を記載すること。)
- 4 各年度の所要時間(計)は、事務事業自主点検シートの「事業の目標、実施状況等」の「所要時間計」と一致すること。
- 5 具体的な業務の見直しの内容は、わかりやすく簡潔に記載すること。(県民から見て分かりやすい表現とすること。)なお、見直しがない場合は、「なし」と記載すること。
- 6 見直しに至った理由または見直しなしの理由は、詳細に記載すること。(具体的な業務プロセスごと、または細分化した業務ごとに記載すること。)
- 7 適宜、業務内容に合わせ、行を加除して記載すること。(複数ページ可)